

就任のご挨拶

令和4年4月1日付けで、政二文明現名誉院長の後任として、けいなん総合病院の病院長を拝命しました平野正明です。何卒よろしくお願い申し上げます。

2年前の令和2年1月に新潟県立中央病院から異動してまいりました。その時の地域連携だよりには、『けいなん総合病院の医師「らしく」活動をしていきたい』と記載しました。



病院長 平野正明

この2年余りは、その答えを模索する毎日であったと思います。その答えはまだ出ていませんが、「専門性を持ちつつ多能化している人材」というものが、ひとつの方向性ではないかと考えています。

「組織はトップの器以上にはならない」あるいは「カニは甲羅に似せて穴を掘る」と言われていますが、病院長を拝命するにあたり、これから「器」をさらに大きくするための努力が必要であることを日々痛感しております。

また、諸先輩方から脈々と引き継がれてきた私達のけいなん総合病院につきましても、「変えるべきを変え、変えざるべきを変えない」、柔軟な小回りの効く地域密着型の病院を目指していかなければならないと考えています。

「変えざるべきを変えない」ものは何か、それは病院の使命である、‘患者さんや地域住民の皆様の健康と福祉を守ることによって社会に貢献する’ことでもあります。そのためには「安全・安心な医療」を提供すること、患者さんだけでなく、病院の内外あらゆる関係する方々に対して「誠実」であること、「親切」であること、「信頼」されることが極めて大切だと考えています。

一方、「変えるべきを変える」とは何か、それは日々進歩し激動する環境に合わせて、スピード感をもって医療知識・技術を習得し、スタッフ一人ひとりが成長していけるような病院にすることだろうと考えています。

地域医療構想を始めとして、今は変化が激しい時代です。変革なくして成長なし、成長なくして安定なし。私達のけいなん総合病院が、患者さんや地域住民の皆様、地域の福祉施設や医療機関の先生方から、信頼されて選んでいただける病院になるために、病院スタッフ一丸となって課題に取り組んでまいりますので、今まで以上に、けいなん総合病院を何卒よろしくお願い申し上げます。

4月から当院消化器内科に着任致しました山川雅史と申します。前任地（新潟県立中央病院）には11年間勤めさせていただきましたが、長年一緒に勤務して参りました平野院長とのご縁でこの度着任と相成りました。

前任在職中は上越医療圏の先生方には大変お世話になり、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、僭越ではございますが簡単に自己紹介をさせていただきます。自分は新潟市に実家があり、両親の仕事の関係で幼少期は東京で過ごしました。その後、高知医科大学に進学・卒業後、長らく関西で内視鏡診療を中心に業務に携わって参りました。自分が内視鏡診療に進むきっかけになりましたのは、研修医卒業後のかけだしの頃、透視下に下部消化管内視鏡検査（CS）をすることが多い中、無透視で行うCSの達人ともいべき上司に巡り合えたことでした。

その後、当時年間1万5千件の内視鏡診療を実践していた京都桂病院に赴任する機会を得ました。午前中は胃カメラ50件、午後は大腸カメラ30件、その他治療も含めると100件近くの内視鏡検査・治療を多くの先生・スタッフの方々と毎日行い、文字通りどっぷり浸かって参りました。おかげ様で、個人では9年間で7,500件の内視鏡検査・治療を研鑽させていただき十分な経験と実績が得られましたので、2011年に実家のある新潟県に里帰り転勤となりました。

着任当時、保険未収載の大腸ESDが一般化していませんでしたので、まずはその普及に取り組みました。幸い地域の先生方から多くのご紹介をいただき、年間平均50件・多い年で100件に迫るまで普及することができました。

また、炎症性腸疾患（IBD）の診療にも積極的に取り組み、西は糸魚川から東は十日町まで広大な医療圏の非常に多くの患者様の診療に携わる機会に恵まれ、現在も継続中です。

今後の抱負は、まずは地域に根差した総合内科医としての責務を日々研鑽しながら、得意分野の内視鏡やIBD診療でもお役に立てればと考えております。妙高地域は内視鏡のスクリーニング検査が十分に普及していないと伺っております。内視鏡診療の最大の恩恵の一つは、早期発見することで胃癌や大腸癌が手術をせずに根治可能なことです。

まずはできるだけ多くの方がその恩恵を享受できるよう、積極的に上下部スクリーニング内視鏡検査を実践していきたいと考えております。地域の先生方に置かれましては、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



内科部長 山川雅史

◇診療担当日は外来診療担当表をご覧ください。

最新の外来診療担当表は、<https://keinansogo.jp/>のトップ画面からご覧いただけます。

4月の人事異動で、看護部長兼看護介護部長に就任いたしました
栗崎裕子と申します。

前任地は上越総合病院で、当院では13年ぶりの勤務となります。
今年度より大役を引継ぎ、重責に身の引き締まる思いで日々を過
しております。

看護部では、当院の基本理念のもとに、患者様・ご家族への笑顔を忘れず、思いやりの心
を持ち、安全と安心、信頼を高める看護・介護を提供していきたいと考えております。

地域の皆様にとって、選んでいただける病院であり続けるよう、スタッフと共に努力して
まいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



看護部長 栗崎裕子

はじめまして。長岡中央総合病院より異動して参りました
渡辺です。4月1日より、けいなん総合病院に赴任致しました。
地元は上越市、本籍地は妙高市（旧妙高村）で9年振りに地元
に戻ってこられたことを嬉しく思っております。

近年、社会から求められる薬剤師の役割は変化してきており
ます。業務は対物から対人へとシフトし、より患者さんの近くで実践する業務が増えてきて
います。それらを全うするためには「臨床薬剤師の育成」が必要不可欠と考えております。
薬剤部スタッフと共に日々成長していきたいと思っております。

妙高地域の方々の健康・保健・福祉に貢献できるよう日々尽力していく所存です。薬に関
するご意見等ございましたら、遠慮なくご相談下さい。どうぞ宜しくお願い致します。



薬剤部長 渡辺一也

- ◆ CT、MRI、上部内視鏡の検査依頼、紹介患者さまの受診予約、お問い合わせは、地域連携センターへご連絡ください。なお、歯科のご予約等は歯科外来へお問い合わせください。
- ◆ 検査依頼や受診予約の電話受付対応は平日 8:30~16:30 です。16:30 以降のご連絡への対応は翌日以降の処理とさせていただきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



けいなん総合病院 地域連携センター

〒944-8501 新潟県妙高市田町2丁目4番7号
Tel:0255-72-3161 (代表) Fax:0255-72-3175 (直通)
e-mail:renkei@keinansogo.jp